



2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月10日

上場会社名 株式会社プレナス

上場取引所 東

コード番号 9945

URL <https://www.plenus.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）塩井 辰男

問合せ先責任者（役職名）経営管理室長（氏名）丸山 俊也 TEL 03(6892)0304

四半期報告書提出予定日 2018年10月12日

配当支払開始予定日 2018年11月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年2月期第2四半期の連結業績（2018年3月1日～2018年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	76,687	4.3	17	△99.5	293	△91.1	△358	-
2018年2月期第2四半期	73,551	3.2	3,177	8.6	3,315	9.4	1,764	17.9

（注）包括利益 2019年2月期第2四半期 △460百万円（-％） 2018年2月期第2四半期 1,791百万円（24.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	△9.35	-
2018年2月期第2四半期	46.09	46.01

（注）2019年2月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第2四半期	92,948	64,396	68.5
2018年2月期	91,499	66,098	71.6

（参考）自己資本 2019年2月期第2四半期 63,690百万円 2018年2月期 65,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2019年2月期	-	30.00	-	-	-
2019年2月期(予想)	-	-	-	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,700	8.9	1,300	△73.9	1,700	△67.7	0	-	0.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、添付資料P.11「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年2月期2Q	44,392,680株	2018年2月期	44,392,680株
② 期末自己株式数	2019年2月期2Q	6,103,709株	2018年2月期	6,103,702株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年2月期2Q	38,288,973株	2018年2月期2Q	38,287,208株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、2018年10月12日(金)に当社ホームページのIR情報に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、緩やかな回復基調が続きました。当外食産業におきましては、原材料価格や物流費の上昇、人手不足に伴う人件費の上昇等、引き続き厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、お客様の満足度向上に努めるべく、商品力、店舗販売力の強化を目指すと共に、中長期での安定的な成長を見据え、さらなる事業基盤の強化に注力しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、766億87百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は17百万円(前年同期比99.5%減)、経常利益は2億93百万円(前年同期比91.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億58百万円(前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純利益17億64百万円)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったものの、臺灣富禮納思股份有限公司などの新規連結や、新規出店により店舗数が増加したことが要因で前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、主に商品力強化・人材確保・育成への投資、仕入コストの上昇により、前年同期実績を下回りました。

[国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第2四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,723店	38店	10店	2,751店	44店
やよい軒	351店	11店	—	362店	1店
MKレストラン	33店	1店	—	34店	1店
合計	3,107店	50店	10店	3,147店	46店

[海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第2四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	2店	—	—	2店
	韓国	12店	1店	1店	12店
	オーストラリア	1店	—	—	1店
やよい軒	タイ	167店	10店	1店	176店
	シンガポール	8店	—	—	8店
	オーストラリア	4店	1店	—	5店
	台湾	12店	3店	—	15店
	米国	3店	—	1店	2店
	フィリピン	2店	—	—	2店
	マレーシア	1店	—	—	1店
合計	—	212店	15店	3店	224店

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

新ブランドスローガン「やっぱり、お弁当屋さんのおべんとうはおいしい。」を策定し、食べ応えのある「カットステーキ重」を発売するなど定番商品の強化を図り、より価値のある商品の提供と、TVCMを中心とした新ブランドキャンペーンを展開しました。また、お客様の満足度向上のため、店舗の販売力を強化するべく、積極的に人材確保・育成を行いました。

以上の結果、2018年7月には単月で2016年7月以来2年ぶりに既存店売上が前年を上回るなど、売上高は、550億16百万円(前年同期比2.5%増)、営業損失2億33百万円(前年同期は、営業利益26億51百万円)となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少(前年同期比0.3%減)があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、主に商品力強化・人材確保・育成への投資、仕入コストの上昇により、前年同期実績を下回りました。

【やよい軒事業】

素材や手作り感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「ビーフステーキ定食」の発売、お子様メニュー半額キャンペーンを行う等、ターゲットをより明確にした商品の開発や販売促進活動を展開いたしました。

以上の結果、売上高は154億77百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は6億42百万円（前年同期比14.3%減）となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少（前年同期比0.4%減）があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、主に仕入コストの上昇により、前年同期実績を下回りました。

【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かなスープが選べるしゃぶしゃぶに、季節限定のスープや特選具材を取り揃えるなど、商品力の強化に努めました。また、広島県内の1号店として高取北店をオープンし、店舗数は34店となりました。

以上の結果、売上高は17億28百万円（前年同期比2.0%増）、営業損失は11百万円（前年同期は、営業利益93百万円）となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少（前年同期比0.6%減）があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、主に原価率の上昇、人件費の増加により、前年同期実績を下回りました。

【海外事業】

第1四半期連結会計期間から、新たに臺灣富禮納思股份有限公司（台湾）、BayPOS, Inc.（米国）を連結対象としております。当第2四半期連結累計期間におきましては、事業規模拡大を目指して成長基盤強化に努めました。

以上の結果、売上高は18億41百万円（前年同期比102.2%増）、営業損失は3億5百万円（前年同期は、営業損失2億55百万円）となりました。

【その他】

宮島醤油フレーバー(株)は調味料・加工食品のOEM（相手先ブランド名製造）を主な事業としております。既存顧客への新商品提案を積極的に行うと共に、新規顧客獲得のための営業活動を実施しました。また、当社グループ店舗で使用する調味料等の開発も行っております。

以上の結果、売上高は26億22百万円（前年同期比2.1%増）となりました。利益面につきましては、のれん代の償却があり、結果としては営業損失46百万円（前年同期は、営業損失20百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億48百万円増加し、929億48百万円となりました。内訳は、流動資産23億9百万円の減少、固定資産37億58百万円の増加であります。流動資産の減少は、現金及び預金25億34百万円の減少などによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産39億38百万円の増加、投資その他の資産3億64百万円の減少などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ31億50百万円増加し、285億51百万円となりました。内訳は、流動負債15億46百万円の増加、固定負債16億3百万円の増加であります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金16億42百万円の増加などによるものです。固定負債の増加は、長期借入金13億31百万円の増加、資産除去債務3億36百万円の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億1百万円減少し、643億96百万円となりました。内訳は、利益剰余金16億59百万円の減少であります。利益剰余金の減少は、配当支払による11億48百万円の減少などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、111億26百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ5億53百万円増加し、46億15百万円となりました。主な内訳は、減価償却費27億71百万円、仕入債務の増加額15億95百万円、預り金の増加額4億56百万円、未払費用の増加額3億38百万円、法人税等の支払額5億66百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ22億7百万円増加し、49億3百万円となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出35億32百万円、定期預金の払戻による収入60億12百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出71億89百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ13億69百万円増加し、1億95百万円となりました。主な内訳は、短期借入れによる収入9億56百万円、短期借入金の返済による支出8億56百万円、長期借入れによる収入12億73百万円、配当金の支払額11億49百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の業績予想につきましては、2018年10月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,372	11,838
受取手形及び売掛金	2,786	2,694
商品及び製品	5,263	5,863
原材料及び貯蔵品	62	64
その他	2,907	2,725
貸倒引当金	△135	△239
流動資産合計	25,256	22,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,347	37,925
その他(純額)	15,942	14,302
有形固定資産合計	48,289	52,227
無形固定資産		
のれん	1,337	1,196
その他	1,051	1,377
無形固定資産合計	2,389	2,574
投資その他の資産		
その他	15,670	15,261
貸倒引当金	△61	△31
投資損失引当金	△45	△31
投資その他の資産合計	15,563	15,199
固定資産合計	66,243	70,001
資産合計	91,499	92,948
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,097	7,739
短期借入金	53	166
未払法人税等	762	479
賞与引当金	328	365
役員賞与引当金	3	—
ポイント引当金	114	115
株主優待引当金	157	94
資産除去債務	161	11
その他	9,071	9,325
流動負債合計	16,751	18,297
固定負債		
長期借入金	98	1,429
退職給付に係る負債	55	74
資産除去債務	5,215	5,551
その他	3,281	3,198
固定負債合計	8,649	10,253
負債合計	25,401	28,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,828	4,777
利益剰余金	68,913	67,254
自己株式	△11,897	△11,897
株主資本合計	65,305	63,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	39
為替換算調整勘定	138	55
その他の包括利益累計額合計	193	95
新株予約権	237	266
非支配株主持分	361	439
純資産合計	66,098	64,396
負債純資産合計	91,499	92,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
売上高	73,551	76,687
売上原価	33,865	37,186
売上総利益	39,685	39,500
販売費及び一般管理費	36,507	39,483
営業利益	3,177	17
営業外収益		
受取利息	23	17
受取配当金	2	2
固定資産賃貸料	69	68
受取補償金	33	20
受取保険金	63	116
その他	47	123
営業外収益合計	238	348
営業外費用		
固定資産賃貸費用	14	3
持分法による投資損失	44	19
為替差損	0	12
貸倒引当金繰入額	7	1
その他	34	34
営業外費用合計	100	72
経常利益	3,315	293
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産処分損	119	240
減損損失	131	73
その他	0	4
特別損失合計	252	317
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,067	△24
法人税等	1,284	332
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,783	△356
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,764	△358

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,783	△356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△15
為替換算調整勘定	2	△77
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△11
その他の包括利益合計	8	△103
四半期包括利益	1,791	△460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,773	△463
非支配株主に係る四半期包括利益	17	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,067	△24
減価償却費	2,607	2,771
減損損失	131	73
のれん償却額	110	110
有形及び無形固定資産除却損	119	240
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22	59
賞与引当金の増減額(△は減少)	216	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	20
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△3	0
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△75	△63
受取利息及び受取配当金	△25	△19
為替差損益(△は益)	2	9
持分法による投資損益(△は益)	44	19
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△2	△0
売上債権の増減額(△は増加)	339	146
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,516	△594
仕入債務の増減額(△は減少)	824	1,595
未払金の増減額(△は減少)	△341	142
未払費用の増減額(△は減少)	155	338
預り金の増減額(△は減少)	85	456
その他	312	△113
小計	6,052	5,165
利息及び配当金の受取額	19	19
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△2,008	△566
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,061	4,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,019	△3,532
定期預金の払戻による収入	9,000	6,012
有形固定資産の取得による支出	△4,300	△6,709
有形固定資産の除却による支出	△74	△44
有形固定資産の売却による収入	34	12
無形固定資産の取得による支出	△207	△479
貸付けによる支出	△202	△169
貸付金の回収による収入	137	143
差入保証金の差入による支出	△195	△220
差入保証金の回収による収入	142	86
その他	△9	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,695	△4,903
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	956
短期借入金の返済による支出	△21	△856
長期借入れによる収入	—	1,273
長期借入金の返済による支出	△13	△16
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	14	—
配当金の支払額	△1,148	△1,149
その他	△4	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,173	195

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	190	△119
現金及び現金同等物の期首残高	15,425	11,181
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	103	128
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△62
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,719	11,126

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結累計期間において、主要な関係会社の異動はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)及びBayPOS, Inc. (米国)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ほっと もっと 事業	やよい軒 事業	MK レストラ ン事業	海外事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	53,652	14,722	1,695	911	70,981	2,569	—	73,551
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	237	29	—	—	267	619	△886	—
計	53,890	14,751	1,695	911	71,248	3,189	△886	73,551
セグメント利益又は損失(△)	2,651	749	93	△255	3,239	△20	△41	3,177

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社1社分であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ほっと もっと 事業	やよい軒 事業	MK レストラ ン事業	海外事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	55,016	15,477	1,728	1,841	74,064	2,622	—	76,687
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	293	38	—	—	331	809	△1,141	—
計	55,310	15,515	1,728	1,841	74,396	3,432	△1,141	76,687
セグメント利益又は損失(△)	△233	642	△11	△305	92	△46	△28	17

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社1社分であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。